



チャレンジ!

おかし の 株式会社

GUIDEBOOK

- 指導用ガイドブック -



金融経済教育推進機構(J-FLEC)

CONTENTS

-もくじ-

使用する教材	1
学習の展開	2

会社のしくみを知ろう

01 私たちの身近にある会社	3
02 会社はどんなことをしているのかな	4
03 会社はどんなことにお金を使っているの	
04 会社はどうやってお金を集めるのかな	6
05 株式会社のしくみを知ろう	

新商品を売り出そう

【ワーク01】新商品のおかしを開発しよう	8
【ワーク02】株式を出して、新商品を作るお金を集めよう	10
今日学んだことをまとめてみよう	13



講師派遣で実施する際の注意点

・班で社長と会社名を話し合ってもらう

(本テキスト P.9 上段を参照)

グループワークの最初に、班ごとに会社の社長と会社名を決めますが、ここで手が止まってしまうケースが多いため、事前に班で、社長役と会社の名前を決めておいてもらえるよう先生をお願いをしておくと、ワークがスムーズに進行できます。

なお、当日に班が決まるような場合には、先生（派遣先担当者）に、会社の名前（A 社、B 社…）と社長役の決め方（一番誕生日の早い人等）を事前に考えておいてもらうようお願いすることも一案です。

・休憩のタイミング・時間を相談しておく

授業が 2 コマ（90 分）になるため、途中で休憩をはさむようお願いされることが多いようです。事前にどのタイミングで、どのくらいの時間を休憩にあてるのが良いか、先生とすり合わせておくことと進行のサポートをいただけます。

使用する教材

動画教材



児童用ワークブック（1人1冊）



ふりかえりシート（1人1枚）

ふりかえりシート

1. 自分が学んだことを振り返り、次の問いに答えよう。

() 何をしたか () 何を学んだか

2. 自分が学んだことを振り返り、次の問いに答えよう。

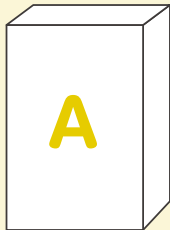
() 何を学んだか () 何を学んだか

3. 自分が学んだことを振り返り、次の問いに答えよう。

() 何を学んだか () 何を学んだか

※必要に応じてお手元で PDF ファイルを印刷の上ご利用ください。

パッケージ（1班1点）



箱タイプ：A



箱タイプ：B

※班ごとに A、B のどちらかを選択

パッケージ用シール（1班1枚）



会社名・商品名シート（1班1枚）

フリガナシート

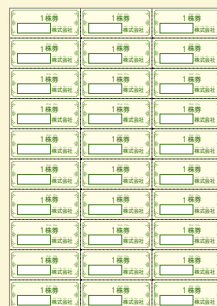
会社名

かぶしきがいしゃ 株式会社

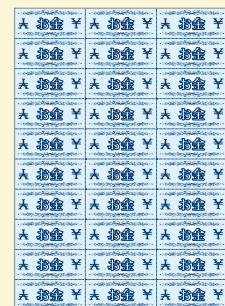
商品名

（※お名前を記入してください）

株券シート（1班1枚）



お金券（2枚1組で切り離して配布）



※お手元で PDF ファイルを印刷の上ご利用ください。



授業の前に準備しておくこと

・お金券の切り離し

（本テキスト P.10 上段を参照）

お金券を児童数×2、切り離して準備しておく（2枚1組の状態で配付してください。）。



・目標金額の設定

（本テキスト P.10 下段を参照）

参加児童数と班の数から、投資の目標額を計算しておく。



$$\text{目標金額} = \text{クラスの数} \times \text{出席者} \times 200 \text{万円} \div \text{班の数} \times 60\%$$

※ 100 万円以下は切り捨てとなります。

学習の展開 (90 分)

段 階	時間	活動	学習内容	使用教材
 会社のしくみを知ろう (18分)	2分	本時の課題の提示	今日の授業でやることと目標の提示	ワークブックP.1
	6:18	動画の視聴	動画「会社って何」を視聴	動画
	2分	説明	ワークブックP.2～3を説明	ワークブックP.2～3
	6:04	動画の視聴	動画「株式会社のしくみ」を視聴	動画
	1分	説明	ワークブックP.4～5を説明	ワークブックP.4～5
 新商品を売り出そう [ワーク01] (39分)	3分	ワークの指示	ワークブックP.6～7を使い、ワーク01とワーク02の概要を理解させ、ワーク01の作業内容を指示する	ワークブックP.6～7
	16分	グループワーク	①会社名を決め、新商品のおかしを考えよう 班でワークブックP.8～9を見ながら新商品のアイデアを考える	ワークブックP.8～9
	15分	グループワーク	②お菓子のパッケージを作ろう 班でお菓子のパッケージを作成する	パッケージ パッケージ用シール
	5分	グループワーク	③新商品発表シートを完成させよう 班でP.9の新商品発表シートを完成させ、発表の準備をする	ワークブックP.9 会社名・商品名シート
 新商品を売り出そう [ワーク02] (30分)	5分	グループワーク	①株券を用意しよう 自分の会社の株式を用意し、集めたい目標金額を決める	株券シート お金券 ワークブックP.10
	2:05	動画の視聴	動画「発表の仕方」を視聴	動画
	2分	個人ワーク	評価表の準備	ワークブックP.11
	15分	グループワーク	②新商品をアピールして、お金を出してくれる人を集めよう 順番に発表を行う(1班1分程度)	ワークブックP.9 パッケージ
		個人ワーク	③発表を聞いて、応援したい会社を決めよう 発表を聞いて、ワークブックP.11の評価表に評価を記入する。投資する会社を決定する	ワークブックP.11
	4分	個人ワーク	④応援したい会社に投資しよう 会社にお金を渡し、株式をもらう	株券シート お金券
	2分	グループワーク	⑤自分の会社集まったお金を計算しよう お金を計算し、ワークブックP.12に金額を記入する	ワークブックP.12
振り返り (3分)	2:48	動画の視聴	動画「今日学んだこと」を視聴し、今日学んだことを振り返る	動画 ワークブックP.13 ふりかえりシート



会社のしくみを知ろう

ワークの前提となる知識を児童に伝えます。
小学生にはやや難しい内容も含まれますので、
児童の反応を見ながら丁寧に進行してください。

01 私たちの身近にある会社



発話例

児童に、今日の授業でやることと、学習の目標を明示します。今日学ぶ内容が、自分たちの生活に密接に関係していることを意識させ、学習内容への興味関心が高まるよう、進行してください。



本時の課題
の提示

2分



今日は、「株式会社」について学んでいこうと思います。

株式会社とは何かを理解してもらうために、みなさんにはお菓子の新商品を考えて発表してもらい、会社を経営してもらいます。班で協力して、楽しく学んでいきましょう。



ワークブックの P.1 を見てください。

みなさんの生活の中での様々な場面がイラストに描かれています。

お店に買い物に行ったり、街で気になるものをながめたり、家の中で楽しんでいる様子が描かれていますね。これらの場面に登場している商品やサービスは**会社**が提供しています。

（例えていくつか実際の会社名を挙げてみる）

例えば、〇〇をつくっている会社だと、△△（会社名）や□□（会社名）がありますね。

私たちは、会社が提供しているいろいろな商品やサービスを利用して生活しています。

ワークブック P.1

会社のしくみを知ろう

01 私たちの身近にある会社

ふだんなんとなく使っているものやサービス、おうちのひと買い物に行った場所や買ったもの、お店や街で見えてほしいなと思ったものなどの多くが会社によってつくられて、私たちにはん売されています。



POINT

時間に余裕がある場合は、例示の代わりに児童への問いかけを実施してもよい。



例えば、お菓子をつくっている会社で思い浮かぶものはありますか？

（挙手を促す）

そうですね、それ以外にも◎◎や▽▽という会社もお菓子の会社です。

（上記の質問以外にも、地域の特性に合わせた質問をしてもよい）

02 会社はどんなことをしているのかな

03 会社はどんなことにお金を使っているの

会社の社会的な役割、会社が活動を行うためにはたくさんの「お金」が必要であることを理解させます。資金調達というワークの動機づけになりますので、しっかりと理解させることが大切です。



動画の
視聴

7分



ワークブック P.2 と P.3 を見てください。

「会社はどんなことをしているのかな」、「会社はどんなことにお金を使っているの」、とあります。ここで動画を見てみましょう。みなさんと同じ小学生が、会社について考えるアニメーションです。



動画「会社って何」を再生 (6:18)



説明

1分



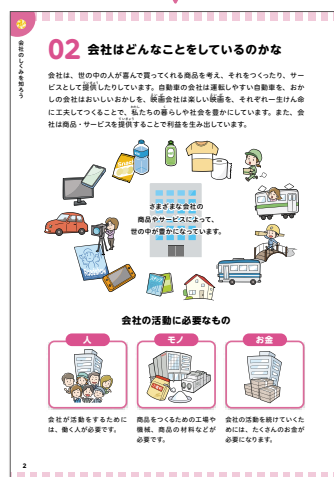
動画で分かったことを整理してみましょう。

P.2 を見てください。

会社は、世の中の人たちが必要とする、または欲しい商品やサービスを提供することで、世の中を便利で楽しいものにする、そんな役割を持っています。

そして、会社が活動するために必要なものとして、動画でお母さんが「人・モノ・お金」の3つをあげていました。

ワークブック P.2



それでは P.3 を見てください。

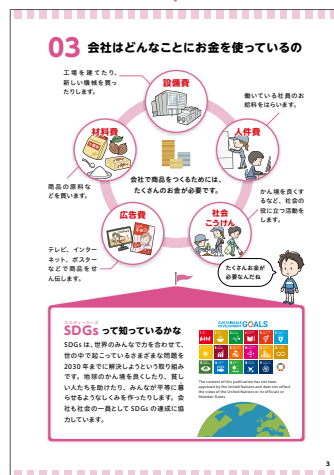
会社がお金を使っている例が書かれています。工場や機械などの**設備**、商品の**材料**、働いている人の**給料**、コマーシャルなどの**広告**、その他最近では、**社会貢献活動**にもお金が使われています。

P.3 の下に「SDGs」のお話が載っています。

会社は、地球全体のことを考えた SDGs の活動にも積極的に取り組まなければなりません。

このように会社は、本当にたくさんのお金を必要としているのです。

ワークブック P.3



動画を利用しない場合の発話例



説明

4分



世の中には実にたくさんの会社があります。
ワークブックの P.2 を見てください。

クルマやテレビ、スマートフォンのような機械を作る会社、お菓子や飲み物、薬、洋服からトイレトペーパーまで生活で使うものを作る会社、電車やバス、宅配便みたいに人やモノを運ぶ会社、ビルや家、橋や道路を作る会社、ゲームや映画、テレビ番組やマンガや本を作っている会社、スーパーやコンビニといったものを売る会社もありますね。



これらの会社がつくっている商品やサービスは全て私達の生活に必要なものや生活を便利で楽しくしてくれるものです。

会社で働く人たちが、それぞれ一生懸命に工夫して商品をつくったり、サービスを提供したりすることで私たちの暮らしや社会は豊かになっているのです。また、会社は商品やサービスを提供することで利益を生み出しています。

では、会社がそのような活動をするためには、何が必要でしょうか。

一般的に会社の経営に必要なものは「**人・モノ・お金**」と言われています。

「人」は、会社で働く社員です。社長1人の会社から何万人という社員のいる会社までいろいろな規模の会社があります。

次の**「モノ」**というのは、会社で売の商品や商品を作る機械、そういった会社の活動に必要なものすべてを指しています。

最後が**「お金」**です。会社が活動するのには、たくさんのお金が必要です。



P.3 を見てください。「会社はどんなことにお金をつかっているの」とあります。今日は、みなさんにお菓子の会社を経営してもらいますので、お菓子会社をイメージして会社が主にどんなことにお金を使っているのかを挙げてみます。

まず商品をつくるためには工場や機械などの**設備**が必要です。商品の**材料**の小麦粉や砂糖なども買わなければなりません。工場や会社で働く社員のお給料も毎月必要ですし、商品を宣伝するための**広告**にもお金がかかります。

最近では、会社は環境を良くするなど社会の役に立つ**社会貢献活動**も積極的に行っています。

下のコラムに「**SDGs**」のことが書いてあります。この SDGs の取り組みに力を入れる会社もどんどん増えてきています。

このような地球全体のことを考えた活動にもお金が必要になってきます。

04 会社はどうやってお金を集めるのかな

05 株式会社のしくみを知ろう

会社が資金を調達する方法として「株式」があることを教えます。ワーク 02 で児童が体験する「株式投資」の前提となる知識です。



動画の
視聴

6分



ワークブック P.4 を見てください。
「会社はどうやってお金を集めるのかな」とあります。
会社はどうやってお金を手に入れているのか動画を見てみましょう。



動画「株式会社のしくみ」を再生 (6:04)

説明

1分



動画で分かったことを整理してみましょう。
P.4 を見てください。
会社がお金を集める方法として2つが紹介されていました。

1つ目は「**銀行から借りる**」方法。
借りたお金は期限がきたら返さなくてはならないし、利息というお金のレンタル料金も払わなければなりません。

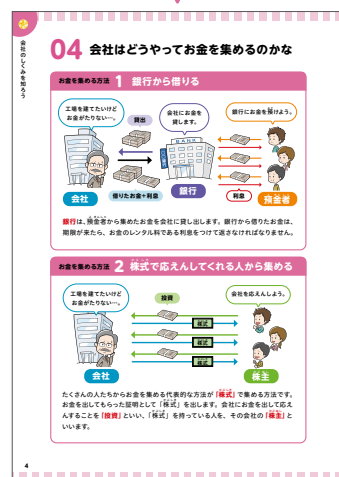
2つ目は、「**株式で応援してくれる人から集める**」方法でした。
世の中の人たちからお金を集める代表的な方法が「**株式**」です。会社を応援してくれる人からお金をもらって、その証明書として「**株式**」を渡すというやり方です。
会社の株式を持っている人を「**株主**」といいます。



P.5 を見てください。
このように「**株式**」でお金を集めて活動している会社を「**株式会社**」といいます。
日本の会社の多くが株式会社です。株式会社のしくみは、このページの1から4のようになっています。
まず、お金を必要としている会社が、人々に呼びかけて投資をしてもらいます。
集まったお金で新しい商品を作り、販売します。
新商品が売れて、利益ができました。
利益のうちの一部を、お礼として応援してくれた株主へ支払うことがあります。これを「**配当**」といいます。

このように株式のしくみを使うことで会社は、多くのお金を手に入れ、活動を行うことができるのです。

ワークブック P.4



ワークブック P.5



動画を利用しない場合の発話例



4分



それでは、ワークブック P.4 を開いてください。

新しく会社を始めるときや新商品を作るためにとてもたくさんのお金が必要になることがあります。そんなとき会社はどうやってお金を集めているのでしょうか？

会社がお金を集める方法は、大きく2つあります。

1つ目は「**銀行から借りる**」方法です。

会社の社長が「工場を建てたいけどお金が足りない」と困っています。この社長は銀行からお金を借りることにしました。

銀行から借りたお金は、期限がきたら返さなければなりません。さらに借りたお金の他に、「**利息**」とよばれるお金のレンタル料金も支払う必要があります。

銀行が会社に貸し出すお金は、銀行のものではなく、預金者から預かっているお金です。もし返してもらえなければ大変なことになりますから、銀行はその会社が本当に信用できるのか慎重に調べて、お金を貸し出しています。

2つ目は、「**株式で応援してくれる人から集める**」方法です。世の中の人たちからお金を集める代表的な方法が「**株式**」です。

お金を出してもらった証明として、お金と引き換えに「**株式**」を出します。会社の株式を持っている人を「**株主**」といいます。



もう少し詳しく「株式」のしくみを説明しましょう。P.5 の4コマを見てください。

1コマ目では、会社の人が「新商品をつくりたいので、お金を出してください」と世の中の人にお願ひしています。会社を応援したいという人が集まって、「がんばれ」といいながらお金を会社に渡していますね。会社は、お金を出してくれた証明書として「**株式**」を渡します。

2コマ目、株式によってたくさんのお金が集まったので、会社は機械や材料を購入し新商品を作ることができました。

3コマ目、新商品が売れて会社は利益を得ました。

4コマ目、会社は利益の一部を株主へお礼として支払うことがあります。これを「**配当**」といいます。株主は、株式を持っている間、会社から配当を受け取れます。(利益が出ないときなどは、配当が出ない場合もあります。)

この「株式」のしくみを使って活動をしている会社を「**株式会社**」といいます。日本の会社の多くが株式会社なのです。





新商品を売り出そう

ワークは大きく2つに分かれています。
それぞれのワークのねらいをはっきり児童に伝えましょう。

メインのワークは、【ワーク02】の株式による資金調達と投資になります。【ワーク01】の作業に時間を使いすぎないように、きめ細かく時間をコントロールして進行しましょう。

ワークの指示

2分



これからみなさんには、班ごとに分かれてお菓子の会社の経営をしてもらいます。P.6の新商品を売り出そうの下の記事を見てください。

これからみなさんがやることは、大きく2つあります。

まず、**班で協力して、会社で売り出す新商品のお菓子を考えます**。そして、新商品のパッケージを作ってください。

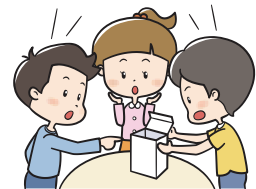
次に、**新商品を作るためのお金を集めます**。

新商品をたくさん作って売るには、新しい機械や大量の材料が必要となります。しかし、みなさんは新しい機械や材料を買うお金がありません。そこで、先ほど学んだ「株式」でお金を集めてください。

班ごとに自分たちの新商品を発表して、会社にお金を出してくれる人をたくさん集めてもらいます。クラスの人に自分たちの商品のすばらしさが伝わるようにアピールしてください。

ワークの緑の部分③と④は、会社に投資する株主になって考える個人のワークです。他の班の発表を聞いて、応援したい会社を決めて、投資をしましょう。

ワークブック P.6



ワーク01 新商品のおかしを開発しよう

ワークの指示

1分



ワークブック P.7 を見てください。

まず、新しいお菓子のアイデアを考えましょう。記入例も載っていますので参考にしてください。

P.8 にヒントが書かれています。ヒントに従ってみんなで話し合い、P.9 の新商品発表シートを埋めていきましょう。

どんな新商品を作るか決まったら、パッケージを作ります。パッケージの箱は2種類あります。班でどちらかの箱を選んで、シールを貼ったり、商品名を書き込んだりして、新商品の良さが伝わるパッケージを完成させてください。

パッケージが完成したら、新商品発表シートをしっかりと仕上げて、発表の準備をします。では、P.8 を見てください。

ワークブック P.7



グループ
ワーク

2分



最初に会社の社長を決めます。社長は、発表のときに新商品発表シートの**1**から**3**を読む役割です。次に会社の名前を決めてください。覚えやすい名前や社長の名前をそのまま会社の名前にしてもいいです。

POINT

時間内に会社名が決まらない班があった場合、商品を考えて後で会社名を決めるよう指示して、先のワークへ進む。

ワークブック P.8 ~ 9

11分



会社の名前が決まったら、いよいよお菓子のアイデアを考えていきます。**3**のお菓子の商品名はあとで決めますので、**4**の「誰に向けたお菓子か」**5**の「どんな種類のお菓子か」**6**の「お菓子のすごいところはどこか」を話し合ってください。例えば、「大人」向けの「ビスケット」で、すごいところは味で「ビスケットなのにものすごく辛い」といった具合です。

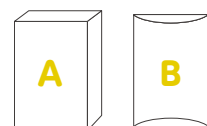
3分



6まで埋まった班は、**4**、**5**、**6**を見て、お菓子の商品名を決めてください。考えたお菓子の特徴が、買ってもらう人に伝わりやすい商品名を考えてみましょう。味に特徴がある場合は味を、材料に特徴がある場合は材料をうまく名前に入れ込むと良いでしょう。

POINT

このタイミングで、2種類のパッケージを提示し、どちらかのパッケージを選択させ、パッケージとシール、会社名・商品名シートを配付する。



15分



1から**6**までが埋まったら、いよいよお菓子のパッケージを作ります。誰向けの商品なのか、商品のアピールポイントは何なのかを考えて、パッケージをデザインしてください。デザインのイメージに合ったシールを使ったり、商品名や特徴が目立つように書くといいでしょう。商品の成分表示シールも貼ると、ぐっと本物っぽくなるのでおすすめです。

(グループでパッケージを作らせる) ※作業の終了時間を伝える

新商品発表シートの**7**にパッケージで工夫したことを書きましょう。「辛いお菓子なので赤く塗った」などです。

また、会社名・商品名シートに、会社名と商品名を大きな字で書いてください。

(シートを完成させる)

残り時間(5分/3分/1分)です。(残り時間のアナウンスを行う) はい、時間になりました。作業を止めてください。



〈応用編〉POINT

7が記入できたら、商品づくりや会社の活動で社会に貢献できることを考えて、**6**か**7**に加えてもよい。P.7の例にある「日本の農家を応援するために国産の小麦を使う」の他、「環境にやさしい材料でパッケージを作る」など。

POINT

作業が遅れているグループは、時間内に終了するようサポートする。

ワーク 02

株式を出して、新商品を作るお金を集めよう

グループ
ワーク

5分



さあ、みなさんの会社の新商品のアイデアが出てきました。

新商品を作って販売するためには、新しい機械を購入し、たくさんの材料を用意しなければなりません。

そこでみなさんの会社では、株式を出して、会社を応援してくれる人からお金を集めることにしましたので、「株券」を用意しましょう。

班に1枚「株券シート」を配ります。この株券すべてに班の会社名を記入します。切り離して、班の人と分担して会社名を記入してください。

この作業時間にみなさんに**お金券**を配ります。1人2枚必ず受け取ってくださいね。このお金券は、1枚が100万円です。なくさないようにしてください。



POINT

お金券は2枚1組の状態
で配付してください。



では、会社で集める目標の金額を発表します。

今回新商品を作るために必要な金額は〇〇〇万円です。※

P.10の目標金額の欄に書き込んでください。この金額を集められるよう頑張ってください。

(目標金額を板書する)

ワークブック P.10



板書例



POINT

※目標金額の計算 (計算は、授業の前に行っておく)

クラスの人数(出席者) × 200万円 ÷ 班の数 × 60%

例) 30人学級で6班の場合

$30 \times 200 \text{ 万円} = 6,000 \text{ 万円}$

$6,000 \div 6 = 1,000 \text{ 万円}$

目標金額は 1,000万円 × 60% にします



目標金額 **600万円** (提示はこれを少し下回る程度でも良い)

※ 100万円以下の端数が出た場合は切り捨ててください。



動画の
視聴

2分



ここで、発表の仕方について動画を見てみましょう。



動画「発表の仕方」を再生 (2:05)

動画を利用しない場合

P.10 の手順を読み上げながら発表の仕方を説明してください。



個人ワーク

2分



発表の仕方はわかりましたか。

これから発表をしてもらいます。P.9 の新商品発表シートの **1** から **3** は社長が発表してください。

4 から **7** は、社長以外の人で分担をして大きな声で発表してください。それでは分担しましょう。

(分担決めをする時間を少しとる)



発表する会社以外の人、他の会社がどんなお菓子を考えたのか聞きましょう。あとで投資をするのでしっかり聞いてくださいね。

どの会社を応援するかを決めるために、P.11 の評価表を使って、他の会社の発表を評価しましょう。

発表を聞いて評価するポイントは4つです。

- ・お菓子の特長は良いか
- ・パッケージは良いか
- ・発表は分かりやすかったか
- ・商品は売れそうか

それぞれ評価しましょう。

ワークブック P.11

② 発表を聞いて、応援したい会社を決めよう

児童会の役員になって発表を聞きながら、下の表に各員の評価を記入しよう。

評価表

◎ = とても良い ○ = 良い △ = 普通 × = あまり良くない

会社名	お菓子の特長	パッケージ	発表の仕方	商品の売れそうさ
株式会社				
株式会社				
株式会社				
株式会社				
株式会社				
株式会社				
株式会社				
株式会社				
株式会社				
株式会社				
株式会社				
株式会社				

票の記入例

会社名	お菓子の特長	パッケージ	発表の仕方	商品の売れそうさ
株式会社	◎	△	×	○

応援したい会社

① 株式会社 ② 株式会社



グループ
ワーク

15分



いよいよ発表の時間です。

それでは、こちらの会社から前に出てください。

発表をお願いします。

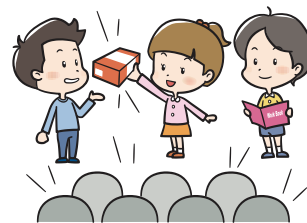
(児童の発表)

ありがとうございました。では聞いていたみんなは、評価表に記入をしてください。

続いてこちらの会社、発表をお願いします。

(班の数だけ繰り返す)

これで、全ての発表が終わりました。では、評価表を参考に投資をする会社を決めて、下の応援したい会社の欄に会社名を書いてください。1社に200万円投資しても良いですし、100万円ずつ2社に投資しても良いです。



POINT

1社1分をめどに発表を行う。教室の状況や時間によっては、前に出ないで、自分の席で班ごとに立って発表してもよい。



個人ワーク

4分



ワークブック P.12 を見てください。これから会社に投資してもらいます。

みなさんは1人2枚の「**お金券**」を持っていますね。お金券1枚が100万円になります。なお、自分の会社には投資できません。

みなさんが会社に渡すお金は、お菓子を買うためのお金ではなく、**会社が新商品を作るためのお金**です。



投資は、まず各班の廊下側に座っている人に行ってもらいます。残った窓側の人は、投資をしてくれた人にお金を受け取った証明として「お金券」1枚に対し「株券」1枚を渡します。その際、投資する人は「応援します」と言ってお金券を渡し、投資してもらった会社の人は「頑張ります」と言って株券を渡してください。

では、廊下側に座っている人は立ってください。

それでは、投資を始めてください。

終わったら席に戻ってください。

(全員が席に戻ったら) 役割を交代してください。

ワークブック P.12



POINT

お金が全く集まらない班が出ないように、先生も投資に参加し、投資されていない班があった場合は先生が投資を行うようにする。



グループワーク

2分



みなさん、投資しましたか。

では、これから株式投資によって、いくら集めることができたか計算してみましょう。

お金券は1枚100万円です。100万円に集まったお金券の枚数をかけて計算してください。答えをワークブック P.12 の真ん中「⑤自分の会社を集まったお金を計算しよう」の右の欄に記入しましょう。

(集まったお金を記入させる)

目標金額を集めることができたでしょうか？

目標金額に届かなかった会社は、足りない分を銀行に貸してくれないか相談しましょう。

目標金額を集めることができた会社は手をあげてください。いくら集まったのか、こちらの班から発表してください。

(挙手した班を順番に発表させる)

一番たくさん資金を集めたのは、〇〇株式会社でした。おめでとう、みなさん拍手してあげましょう。



そして、みなさんの手元には他の会社の株券があると思います。みなさんは、今、株券に書いてある会社の株主になっています。

株主は、自分が応援した株式会社が自分たちのお金をきちんと使っているか、世の中の人たちが喜ぶ商品を作るために頑張っているかをチェックしていかなければなりません。

今日学んだことをまとめてみよう



動画の
視聴

3分



最後に、今日学んだことを動画で振り返ります。今日やったことを思いだしながら見てみましょう。



動画「今日学んだこと」を再生 (2:48)



今日は、グループの人と協力して、新しい商品を生み出し、お金を集めるという体験をしてもらいました。動画でふれていましたが、みなさんの生活がたくさんの働いている人たちに支えられていることを忘れないでください。そして大人になったら、働くことを通じて社会を支える大人になってくださいね。

これで「おかしの株式会社」の授業を終わります。今日はありがとうございました。

動画を利用しない場合

ワークブック P.13 の文章を読みます。



振り返り

3分



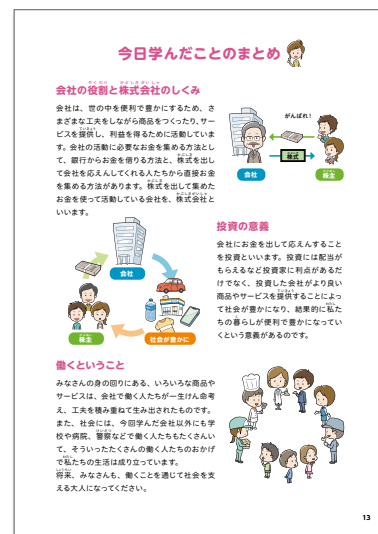
最後に、今日学んだことを振り返ってみましょう。ワークブックの P.13 を開いてください。

(ワークブック P.13 を読み上げる)

今日の授業をやってみて、どうでしたか？
みなさんの生活がたくさんの働いている人たちに支えられていることを忘れないでください。

これで「おかしの株式会社」の授業を終わります。今日はありがとうございました。

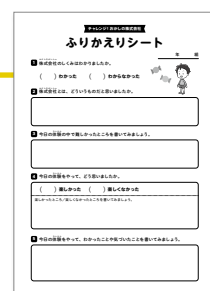
ワークブック P.13



POINT

まとめの時間にふりかえりシートを配付し、児童に記入してもらう。

※現在、J-FLEC の講師派遣では「ふりかえりシート」は使用しておりません。





チャレンジ！おかしの株式会社

2024 年 8 月 初版

2026 年 6 月 第二版

制作・発行 金融経済教育推進機構（J-FLEC）

発行者の許可なしに本テキストの内容の全部
または一部を無断で複写、複製または転載
することを固く禁じます。

